

光市医師会報

昭和59年9月発行

No. 144



蝶 — 渡辺コレクション
渡 辺 幹先生

光 市 医 師 会

医師会月間行事

○8月度理事会

59年8月7日(火) PM7:30~9:30

光市医師会館 出席全理事

報告事項及び協議事項

(1) 県医師国保組合の報告(竹中会長)

組合収支報告・社会保険本人の1割負担導入による組合としての対応(付加給付等)

(2) 医師会長会議: 8月5日の日医ニュースに6月28日以後の審議の進み具合が

でているが、1割負担の支払いで、3段階(1500円迄は100円等)を使う医療機関の届出等が問題として、でてる。

(3) 昭和60年度県医師会総会の日程協議

(竹中会長) 当方の要望として、60年6月23日(日)、市民ホール(小ホール使用) 当面理事会を準備委員会とする。一般演題は採用せず、特別講演のみを要望する(県医側に)。特別会計を作る。

(4) 健康診査について。10月1日(月)~11

月15日(木)迄。一般診査、精密検査共。

(5) 心臓検診の収支について(福本副会長)

昭和59年度光市小学1年生及び附属小中学生の心臓検診収支報告

(6) 健保組合との懇談会の出席及び議題

(福本副会長)

8月24日(金)午後6時 徳山医師会病院
福本副会長、中村(夕)、藤原各理事出席

(7) その他

9月例会は大久保先生の講演 予定

10月例会は津村の漢方の話

光武、前田(昇)先生が入会された為、
外科系の当直が一部変更となる。

○8月度月例会、研修会

昭和59年8月28日(火) PM7:30~

光市医師会館

報告事項及び協議事項

(1) 医師国保組合の報告(竹中会長)

(2) 健康保険組合との協議会(福本副会長) 詳細後記

(3) 昭和59年度健康診査(福本副会長)

(4) 労務担当理事協議会の報告(中村理事)

労働条件自主点検結果について、県医師会でのまとめの報告。

東京都の県外国保診療報酬全国決済制度参加について——昭和59年11月請求分から山口県国保連合会へ提出することになる——

(5) 産業保健担当理事協議会の報告(高橋理事)

(6) その他

9月9日救急の日の為に光医師会としてパンフレットを作製した。(誰にもできる人工呼吸・家庭内中毒に関して)

研修会 救急蘇生法の実習 富恵哲先生

スライドの説明后、人形モデルを使って挿管迄の実習。

○周南三市医師会、歯科医師会及び健康保険組合懇談会

59年8月24日（金）午後6時

徳山医師会病院

健康保険組合に対して要望、意見

1) 保険証の正しい取扱い方に御協力下さい。a) 毎月初めに保険証を窓口へ提出。番号と記号と姓名のみで受診しない様。保険証のコピーで受診しない様。2) 病院の診療時間と仕事の勤務時間が同じ場合どうしても時間外の診察となり健保組合から照会のある事がありますが、本人へその期間の状態を先に確認して頂きたい。(以上徳山医師会・下松医師会も略同じ要望)。3) 交通事故で自賠責を使用すべきであるのに健保を使わしてくれと云うのが多い。特に保険会社より云うのが多い様である。健保組合よりもPRされたい。

次回は60年5月～7月の間の適当日。

光市担当

○医師会史編纂委員会

昭和59年8月10日（金）PM7:00～

光市医師会館

s 22年～40年迄の総まとめ。長老会員の話を聞く会に関して。

○会員異動

伊藤慶二先生は59年7月27日付で市医師会を退会された。同8月3日より勝間クリニックを開院された。

我 テニス

光市立病院整形外科 年光隆幸

この暑い夏がやってくると、どういうわけか、大学時代の軟式テニス部のことを思い出す。医学部の敷地内に軟式テニス用のコート部員全員で造ったのも夏だったような気がする。私の医学部への通学スタイルは、テニスシューズ、テニスウエアー（赤色）、トレーパン、手にさげているものはラケット、筆記用具とノート、本一、二冊。休講となるとすぐコートに走り込み寸暇をおしんで練習した。日曜日は朝10時位から日没まで乱打の練習。この日曜日の練習の犠牲者となったのが、現、徳山中央病院外科に勤務している山時修君であった。金もなく、女性にももてない私にとっては日曜日をいかにしてすごすかが大きな課題であったが、軟式テニス部に入部してからは、この悩みから解放されたのである。私は前衛で後衛は高校時代から、かなり実力をもっていた。現、熊本大学第2病理学教室助教授の宮山東彦君であった。この宮山君は私とちがって、非常にまじめで礼儀正しい学生であり、テニスに於いても部内一、二の実力者であった。大学に入ってから軟



式テニスをはじめた私は、ともかく部内No. 1のペアになることを第1目標と考え、この彼に頼み、毎日、毎日、日没まで、ボレー、レシーブ、スマッシュの練習をつけてもらった。部内には奏、服部組という良き目標ペアがあり、おいつけ、おいてせとばかり、練習の明暮であった。ともかく専門3年の終りまでは、熊本大学、軟式テニス部・医学部の学生と表現したほうがよいのではないと言われるほど、コートで過ごす時間が長かった。ついでながら、大学時代の戦績は専門3年の時が最高で、九山大会、団体及個人優賞（宮山、年光組）西医体、団体優賞、個人ベスト8、全医体団体及び個人優賞と医学部関係の8タイトルのうち7つを獲得した。大学時代から体重52kgをずっと保ってきたのであるが、3年前前から50kgをいったりきたりで、なかなか52kgにならず、体調もベストではないのが現状である。6年前より軟式ラケットを硬式ラケットにもちかえて、周陽地区の大会に度々、出場してきた。いつも日頃練習なしのぶっつけ本番で何とかやってきたが、ここ2年位は全く調子が悪い。最近の公式戦で全好調であったのは、（ペアにもめぐまれ）中四国ドクターズ大会（岡山市にて開催）で、35～50才までのNo. 1として出場し全勝した。

30才代、40才代とガクッ、ガクッと脚力が落ちてきて、ああ年かなと感じることの多い、今日この頃である。今は家庭の事情

もあり、テニスをする時間が全くないが、事情が好転すれば、徐々に練習量をふやし今の実力をなるべく長く維持するのが夢である。

光市立病院に於ても、本庶院長以下、赤崎部長？、鳥枝、山下両実力派先生、それに森、田中諸先生方が猛暑の中、硬式テニスを楽しんでおられる。スポーツを通じての人とのふれあいは、いつまでも良き思い出として残るものである。テニスばんざい！！

（我テニス 第1編 終）

あとがき

趣味もここまでくれば、芸術的で、光製鉄所の渡辺幹先生の蝶 —その美しさ— 渡辺コレクション公開 —は壮観で、早速表紙に使わせていただきました。本号のしめくくりは光市立病院の年光先生にテニス談義をかいていただきとても助かりました。



発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社